

かわらばん 第3号

通関実務対策として最も重要な知識は品目分類に関するもの！

通関実務対策として最も重要な知識は品目分類に関するものです。その中で核となるのは、品目全体がどのような構成になっているかを早く把握することです。そのためには地球上の品目全体が1～97に分けられている類をしっかりと掌握する必要があります。品目分類（通関実務テキスト 第6章第3節）の学習到達目標は6月第2週に設定されていますが、学習範囲が広く覚えることも多いため、4月から少しずつ取り組むことで効率よく学習でき、問題解決にも大きく貢献します。具体的には、通関実務テキスト（p.67～72）に掲げられている品目のうち1，2品目でもいいから早いうちからしっかりと覚えることです。次に大切なのは、どの類に分類するのか惑わせる品目をしっかりと覚えることです。例えば、第1類は「動物(生きているものに限る。）」であり、犬も猫も象も生きているものであれば、第1類に分類されます。ただし、巡回サーカス用の動物は第1類から除かれ、遊戯用具等の属する第95類に分類されることとされており、このような品目が試験に出題されます。したがって、類を代表する品目と除外される品目の類を暗記することが重要です。

テキスト p.67～

関税率表における《類別》商品分類			
類	表題の概要	分類する商品の例	除外する商品の例
1	生きている動物	豚・羊・牛・馬・鯨・いるか等哺乳類、かめ・へび・とかげ等爬虫類、両生類及び鳥類	生きているいせえび・かたつむり・なまこ(3類)、培養微生物(30類)、巡回サーカス用の動物(95類)
97	美術品、収集品、こつとう	肉筆の書画、芸術家が原版から手作業で作成した銅版画、木版画、石版画、こつとう、収集品、標本、郵便切手	郵便切手(発行国で通用する未使用の切手)(49類)、劇場又はスタジオ用の背景幕(59類)(こつとうを除く)、大量生産した鑄像の複製品(構成材料)

《カードシャッフル法》

今回は、その通関実務の品目分類対策の重要技であるカードシャッフル法をご紹介します。

カレンダーの裏に1～97類のための縦横の線を引きます。

カードは英単語カードを入手します。オモテの右上端を切ることを忘れないでください。カードをシャッフルする(切る)前に早く整理させるのに役立ちます。

1～24類、25～49類、50～71類、72～97類の4つに区分していきます。区分ごとに覚えていきましょう。

通関実務テキスト(P.67～72)のゴシック(太文字)の品名をみて、カードのオモテに1カード1品目記載、裏に類の番号を書きます。

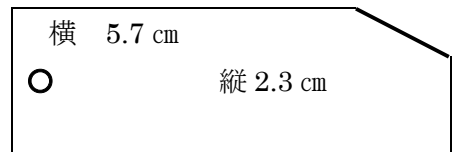
(例) ①オモテ；生きている豚、裏；1

②オモテ；生きているいせえび、裏；3

全ゴシック品目は必要ではなく、私は240枚ほど作りました(担当講師談)。

使い方は、カードを20～30枚シャッフルし、オモテの品名を見て、該当する類番号の上に置いていくだけです。

一区分1週間あれば覚えられますので、全体を1か月でできます。疲れたときにこれをやるとかえって楽しくなり疲れが回復するとの感想をよく聞きます。全国模試前までにぜひ完璧にして第3科目征服に貢献させましょう。



(幅 63 センチ 縦 51 センチ カレンダーの裏紙)

1	11	21	31	41	51	61	71	81	91
2	12	22	32	42	52	62	72	82	92
3	13	23	33	43	53	63	73	83	93
4	14	24	34	44	54	64	74	84	94
5	15	25	35	45	55	65	75	85	95
6	16	26	36	46	56	66	76	86	96
7	17	27	37	47	57	67	空欄	87	97
8	18	28	38	48	58	68	78	88	
9	19	29	39	49	59	69	79	89	
10	20	30	40	50	60	70	80	90	